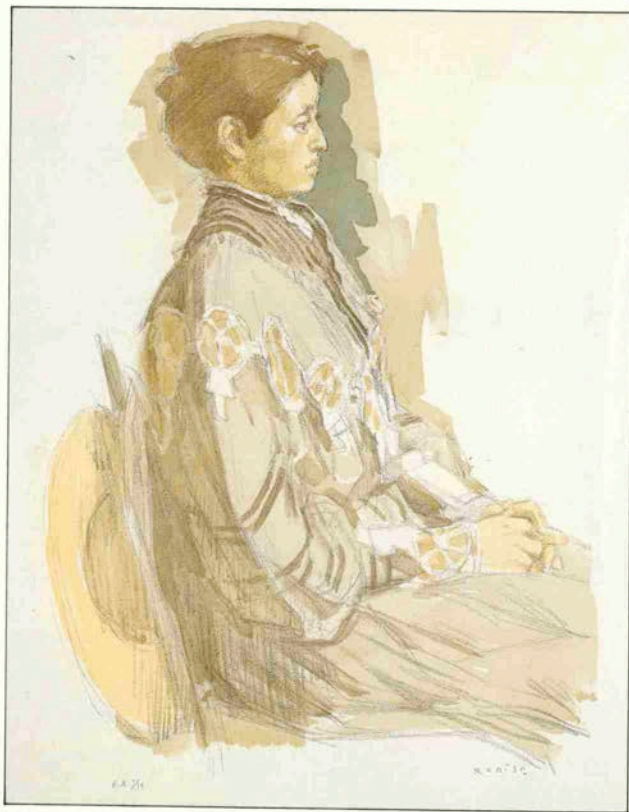


THE KOBEC CO 12

DECEMBER 1982 No. 260 月刊 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和57年12月1日印刷 通巻260号
昭和57年12月1日発行 毎月1回1日発行



BENIYA



BENIYA BRILLIANT MODE

いざなう

ブリリアントナイト

冬の星座のまたたきにも似た「ベニヤ」ブリリアントモード

しつくりとフォーマルな夜会になじんで、しかも個性を色あざやかにきわだてます

冴えわたるラインとシルエツト、バリの空から神戸の空へ

ゆく年、くる年のめぐる思いを優雅に包む「ベニヤ」フォーマル・コレクション

めぐるめく夜会へのファッションアブルないざなうです

LADIES SHOP
Beniya

the ladies fashion of the four seasons. creative beniya

本店 / 神戸市中央区三宮センター街1丁目 ニューセンター1F・2F ☎332-2135 KOBE・OSAKA・TOKYO

帝国ホテルインベリアルプラザに58年3月 出店予定



Designed by Tasaki

とぎすまされた、冷たい魅力ばかりではない。時には、日向のように暖かい表情のジュエリーがある。
田崎真珠

Pendant
Emeralds, Rubies, Sapphires, and Diamonds.
Yellow and White gold.
Designer Hideji Fujii

お問い合わせ、カタログのご希望は〒100東京都千代田区永田町2-4-3田崎真珠販売企画室(03)580-1688まで、ご郵購・お電話番号を附記してご請求ください。◎あなたの真珠はハールマークの店で

MIKIMOTO

今宵は、ジュエリーアップ。



いつか私の胸にも、と思っていました。
小さくても美しいもの。何日も
かけて選んだのです。うれしい
とき、悲しいときいつも見
つめていてくれるはず
です。初めて手にし
た、私の輝き。
ペンダント K18製
¥280,000



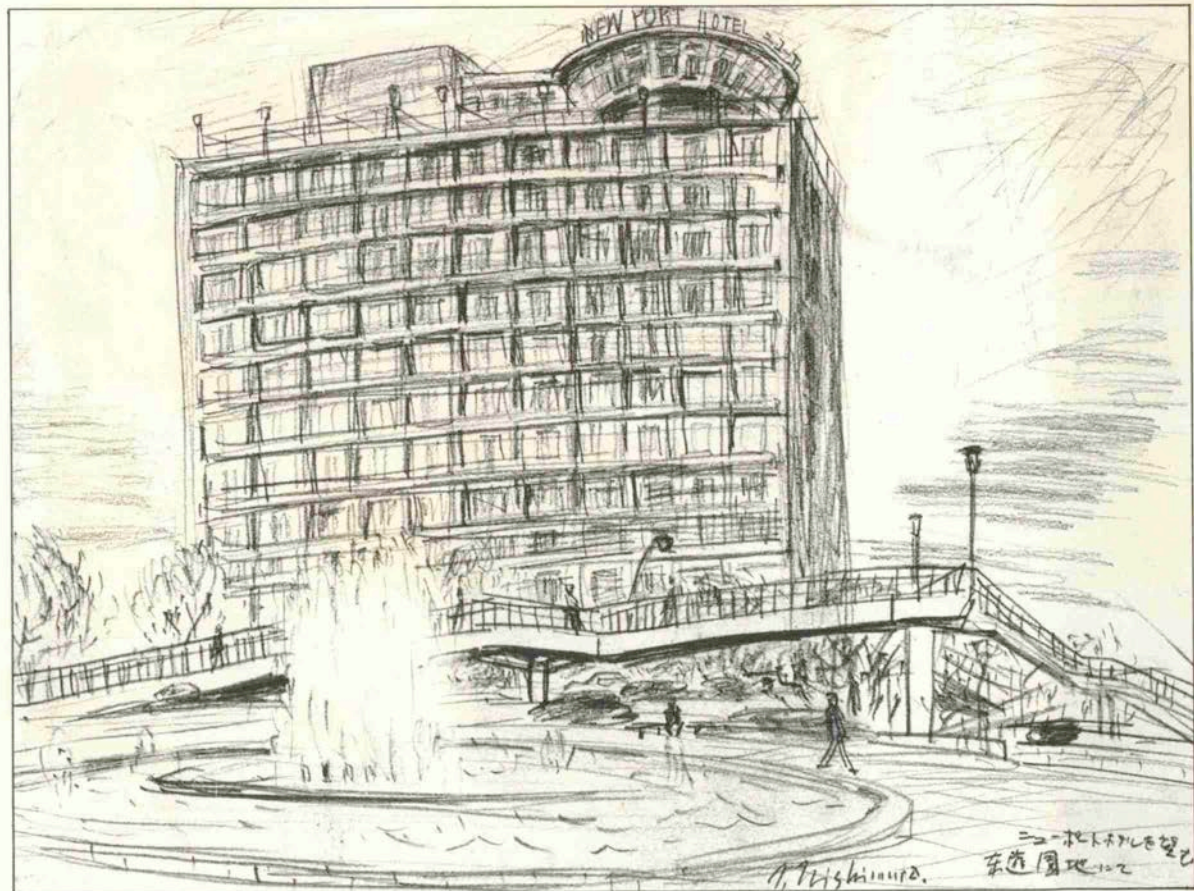
二人だけのクリスマスの夜に、初めての
輝きてイメーリアップする。そ
れは、自分のためのおしゃれ、
というより、もしかしたら、
ご主人の驚く顔を期待
しているからなのか
もしれません。
ブローチ K18 銀製
¥280,000



'82ミキモトクリスマスコレクション

12月25日 日曜日まで三ノ宮・神戸国際会館ミキモトで開催しております。
便利なローンでのご用命も承っておりますのでお気軽にご利用下さい。

スケッチブックから ● 僕の見た神戸〈48〉 ニューポートホテルを望む
東遊園地にて



絵・西村 功

ビューティサロンの

新しい星

ギャルソンヌ

ミドリ

オープン



アダルトな音と映像に魅了される
レーザーディスク完備

クリスタルな光の中、ヤングスタッフ
の楽しい雰囲気は心と心のふれあいを
大切にしたいキラリと光るカットサロン
です。

MENUE	料金	学生(%)迄)
シャンプーカットパーマプロ	¥4,800	¥4,000
シャンプーカットプロ	¥2,500	¥2,300
シャンプープロ	¥2,000	¥1,700

CUT & PERM
GARÇONNE
MIDORI

神戸市中央区北長狭通り1-10-5

☎078(331)1245 11AM~8PM水曜休

一流のシェフが愛める

Mr. Egro

ミスターエグロ



とてもビアン!
エグロコーヒー

シェフ パトリックランヌさん



Mr. Egro が活躍した
カオールフェアー

レストラン **バグ**

貿易センタービル24F ☎251-1961

貿易センタービル24Fのレストラン《バグ》が13周年を迎えて、南フランス・カオールのアンバサダーといわれる、フランス料理界の若手ホープ、パトリックランヌ氏を迎えて、カオールの香りと味をグルメの神戸っ子に楽しんでもらおうと企画、大好評でしたが、ヨーロッパの泡立つ香りの珈琲Mr. Egroもお手強い。シェフにもお客さまにも、とてもビアン！と人気ものでした。

MINAMI Mr. Egro SERIES



ヨーロッパの味と香りを伝える **Mr. Egro**

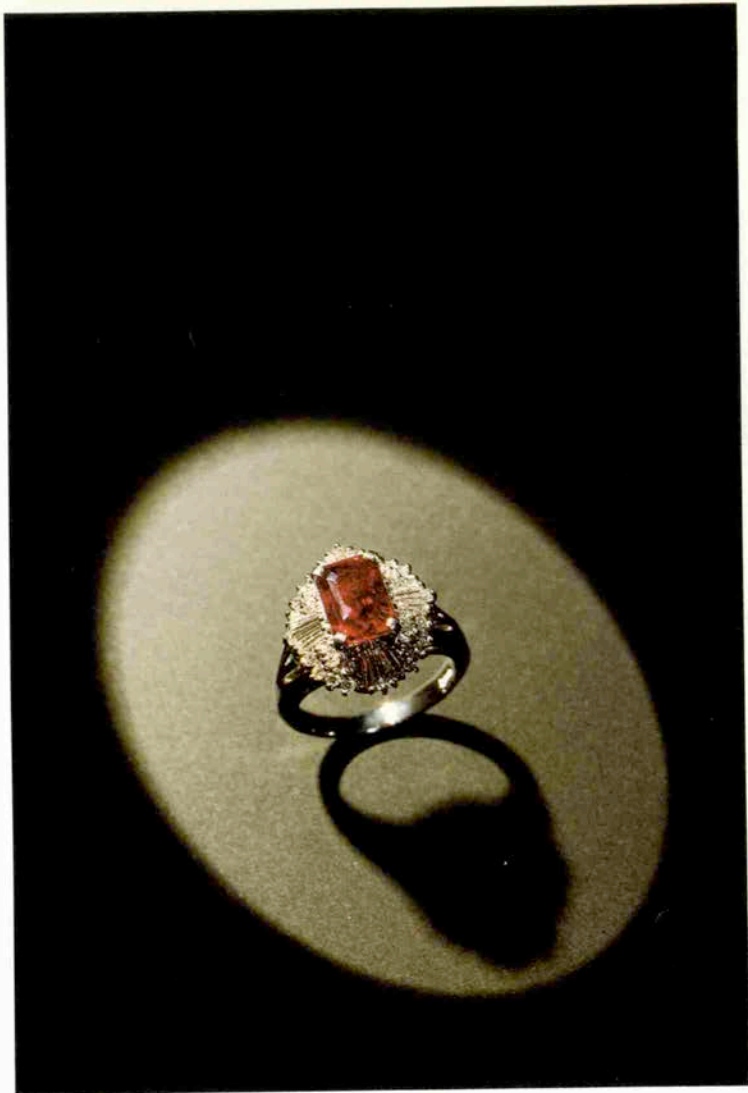
株式会社 南インターナショナル

- 本社 〒651 神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 神戸商工貿易センタービル17階 PHONE 078-232-1301代
- 東京支店 〒150 東京都渋谷区猿樂町29-18 ヒルサイドテラスB-8 PHONE 03-496-8000
- 名古屋支店 〒460 名古屋市中区栄1丁目12-10 フシミファーストビル301号 PHONE 052-203-1018

東方の3人の博士たちを
導いた星の光にも似て…

Tajima
宝飾店 **タジマ**

元町2丁目 TEL. 331-5761代表



青春INGSに体あたり——

斉藤とも子

(女優)カメラ・山村雅彦

日本とアメリカの女子大生が、くり広げる珍騒動を描くコメディタッチの青春ドラマ「青春INGS」——ゆう子とヘレン」が10月から関西テレビでスタートした。斉藤とも子とヘレン笹野のフレッシュコンビで出演中。

斉藤とも子さんは、昭和36年3月魚座。ロマンチスト、須磨生まれの神戸っ子。ドラマの舞台は神戸で斉藤さん扮する北野ゆう子は女子大四回生、学業よりもアルバイトに夢中、仲間たちと一緒に子守から留守番など、何でも引き受けるナンデモ屋をはじめ。正義感、責任感に溢れた積極型女の子。典型的な日本人家庭の北原家へ、ホームステイとしてアメリカからヘレンが舞い込み、平凡な家庭にさまざまな珍騒動が……。

「私は、ゆう子という役柄に魅力を感じています。というのは、ゆう子の持っている明るさ、さわやかさが好きだから。このドラマは、ライトコメディですから、演じながら自分でも楽しいんです」

東京から、週5日間の宝塚暮らし、ハードスケジュールへ若さいっぱい体あたり。まさに「青春INGS」へ、ゴーイング・オン!



師走

ワシントンホテルよりのご案内

三宮生田新道ワシントンホテルの味でお迎える
直営飲食店には旬の味が勢揃いして
皆様をお待ち致しております。



Adonis amurensis

寿司天ぷら・浜料理

2F 銀坐

●午後4時半～午後11時

鍋・しゃぶしゃぶ・気軽な百畳

三十三回堂

●午前1時半～午後2時 ●午後4時半～午後11時
●日・祝日 午前11時半～午後11時

鍋料理の季節になりました。
ご家族団らんのお場としてご利用頂けます。
「ふぐ」 ふぐ鍋 一、七〇〇円

忘年会は三十三回堂におまかせください。

●お一人様3,500円より料理飲物・税サ込

9F ガスライター

●午後5時～午前2時
●日・祝日 午後5時～午後11時

深夜2時までお食事とお飲物が楽しめます。
月替り「シエフおすすすめダイナー」
三、五〇〇円

2F 会議室

(40坪・2部屋)

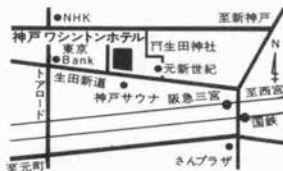
発表会、展示会、各種セミナー、研修会
など、幅広くご利用いただけます。

☐日曜日もワシントンホテルで

駐車場完備30台収容 日・祝日は2時間まで無料

神戸ワシントンホテル

神戸市中央区下山手通2-11-5 ☎(078)331-6111



全国に拡がるワシントンホテル



札幌 札幌第2 八戸 仙台 仙台第2 山形 福島 宇都宮 東京秋葉原 横須賀 富山 長野 名古屋第1 名古屋第2 名古屋金山 岐阜
岐阜第2 神戸 高松 高知 小倉 宮崎

精度の高い作品を——小林陸一郎

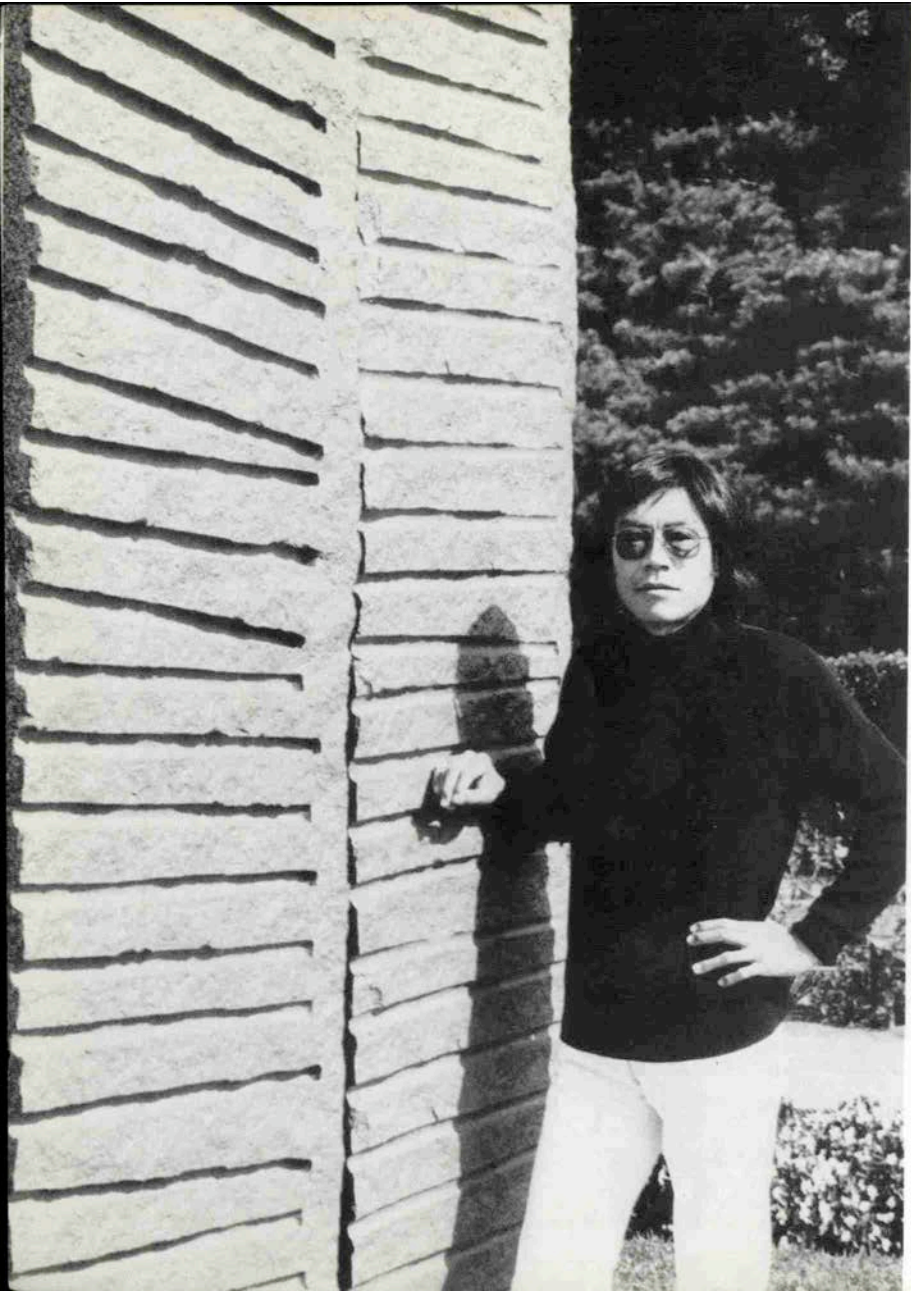
（環境造形・彫刻家、京都精華大学教授）カメラ・米田定藏
 夙川学院短大講師・行動美術協会会員

ここから嬉しい。——第八回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で大賞の神戸市長賞を手にした小林氏の感想は非常に素直である。作品は、四米余りの巨大な黒御影石をパカッと縦に裂き、二本を並列に建てた大作である。割れ目一面に塗られた真紅は、緑の自然の中で一瞬、意表をつく。二本の石の隙間は、垂直で大空に果てしなく広がる空間を示す。「無意味」という題名は、作品に表現された作家の意識が、鑑賞側にも理解されやすいのではないだろうか。できる限り装飾をなくした、シンプルな形の中に精度の高さを感じられる。彫刻との対話」というテーマが生きている。

高校生の頃は生物学者に憧れており、ゆめゆめ彫刻家になろうとは思っていなかったそうだが、画家のご尊父の影響もあったのだろう。大学は京美だし、仕事も大阪寄りだったが、山口牧生、増田正和の両彫刻家と三人で環境造形Qという、共同制作のグループを作ってから、神戸にも馴染が深くなった。東遊園地やポートアイランド北公園等あちこちで「開かれたモニュメント」は、市民に親しまれている。それらは何れも、奇をてらうことなく、周囲の自然環境に溶け込み、和やかさを醸し出している。

阪神タイガースと柏戸とお酒が大好きな小林氏は、女性にも、とても優しい人だ。四十四歳。

（須磨離宮公園の大賞受賞作品の前で）



街から山へ味なKOBE

神戸の絶景を眺めながら

●スカイ・テラス

レストラン

トゥール・ドール

11月23日 open



千万^{ドル}と言われる神戸の夜景。この街の素晴らしさが最も手に取る様にわかる場所金星台にまた新しい名所が誕生。レストラン「トゥール・ドール」はワインも肉もそして珍しい野鳥料理も全てとびきりの神戸。山あいの自然と見渡す絶景が加味されたデリシャスタイムを。

●姉妹店●

MENU

DINER DE LA TOUR D'OR

エスカルゴ プルゴージュ風

又は

デンマーク製スモークサーモン

本日のスープ

若鶏のマスタード風グリエ

又は

骨付仔羊ロースの香草風味焼き

冷菓

コーヒー

¥4,000 ~

LES ENTREES

鴨の胸肉サラダくるみ油風味 ¥1,500

きのこのスープ ¥900

牛サーロインのグリエボール 下 ¥3,000

ランチ ¥1,200 ¥2,000 3,500



SKY TERRACE

RESTAURANT

TOUR D'OR

諏訪山金星台・ビナスブリッジ隣(三ノ宮、元町から車で7分) TEL 078(241)0168



フランス料理

Bistrot de Lyon

ビストロ・ドゥ・リヨン

中央区山本通2-13-6

☎221-2727

Le Chante Clair

純フランス・リヨン料理

シャンテクレール

三宮ターミナルホテル4階

☎232-1682



ある集い★神戸シネマハウス★

映画ファンが作った 映画の玉手箱

阪急三宮駅西口近くの高架下にある「神戸シネマハウス」は7月26日に誕生したばかりの映画ファンが作った映画資料館。5年前から神戸で自主上映活動を続けていた「神戸映画ファンクラブ」のシネキチたちの数年来の努力の末、やっと出来た念願の拠点である。

去る10月10日から国際交流会館とビック映劇で10日間催された、第2回「KOBEBE82映画フェスティバル」の企画・運営、すべて同ハウスのスタッフの手によって進められた。

16坪のスペースには無声映画時代から今話題の映画に至るまで邦・洋画のパンフレット、チラシ、スチル、解説資料など約6千点が展示されている。

もうひとつの宝物は2台のテレビジョンに映し出されるレーザーディスク装置、約60本の名作映画がストックされていて、いつでも自由に観れるのがメンバーたちにとって何より嬉しい。また、手づくりのスクリーンには8ミリ、16ミリ上映もOKでミニホールとしても活用できる。

上映会の他に、映画監督など映画人を招いての歓談会、自主映画製作、映画祭etc.と映画にかける夢はいっぱい。さしずめ、ここは「映画の玉手箱」、一体何が飛び出してくるか、それはこれからの楽しみ…。

（合わせて35頁もお読みください）

THE KOBE FASHION

●このカタログTHE KOBE FASHIONは“神戸”のいろいろな発信がこめられています。●神戸の風合い、神戸のファッションを気軽に楽しんでいただきたいのです。●応接間やダイニングルームに一冊置いていただいて、神戸の文化の爽やかな彩りの中に浸りながら、“神戸ブランド”の良さをしっかりと選んでください。●神戸の香が立ちこめるこのカタログであなたの生活がハイカラな神戸風になります。●THE KOBE FASHIONはファッション都市をめざす神戸のひとつの試みです。●いろいろな試みのなかから新しい文化が生まれて育ちます。●新しく誕生した文化にあなたの手をさしのべてほしいのです。●あなたの手が、声が、神戸の文化を創るエネルギーになり、神戸のファッションがまたひとつ年輪を刻み、光彩を放ちます。



表紙／早川良雄

ファッションステージ神戸を集大成 頁を繰るのが楽しみだ!!

定価700円(送料300円)

好評発売中

編集●月刊神戸っ子

発行●コミュニティサービス(株) 〒650 神戸市中央区江戸町100高砂ビル5F 078-392-0200

お問い合わせ・お申し込みは 上記コミュニティサービスまでお願いします。



晴れの受賞者のみなさん



文化賞受賞の田辺聖子さん

「明日の兵庫」へ向かって 兵庫県文化賞の贈呈式

昭和57年度の兵庫県文化賞、科学賞、社会賞、スポーツ賞の贈呈式が、10月29日県民会館で行われた。本年度受賞者は、作家の田辺聖子さんら15名と兵庫県いけばな協会ら3団体で、各分野の振興と発展を象徴するにふさわしい高水準の顔ぶれとなった。

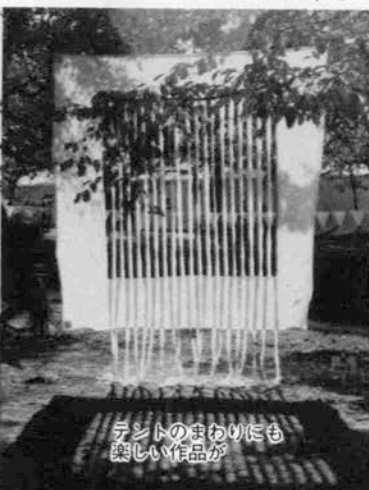
●コウベスナップ

第3回架空通信テント美術館展 芸術テント村が出現

美事な桜の紅葉に彩られた夙川公園に芸術テント村が出現。11月1日～7日、画家の津高一氏らが開いた「第3回架空通信テント美術館展」で、夙川べりに設けられた大テントの中やその周囲に現代美術家達のユニークな作品150余点が展示された。11月3日には青空の下で「現代美術の多様性」についてのシンポジウムも開かれた。



大テントの中には
作品がいっぱい



テントのまわりにも
楽しい作品が



元永定正さんらを迎えてのシンポジウム

エトランゼの 輪郭 10

松本 宏

1934 / 兵庫県に生まれる 1957 / 東京芸術大学油絵科卒業 1962 / シェル美術賞展「3位」入賞 1964 / 行動展にて行動美術賞受賞、会員推挙 1973 / 金山賞展にて第1回金山賞受賞

黒豹を思わせるひと

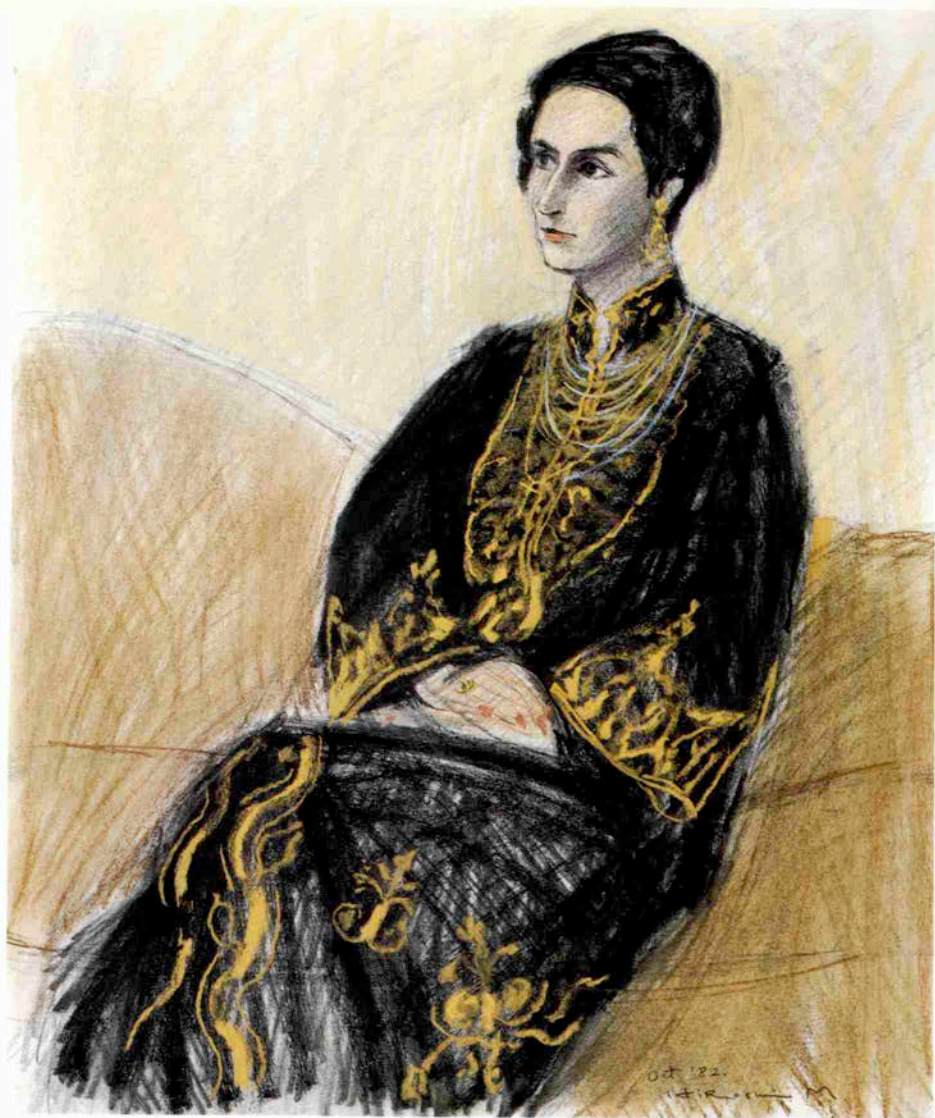
マリーローズ・石黒夫人と研究室で初めてお会いしたとき、これは絵になると直観した。小麦色の肌と黒い瞳、細くとおった形のきれいな鼻とうすい唇、そして短く整えた烏色の髪の毛と眉毛、そしてアイボリー・ブラックの中に金系の模様をあしらった衣裳に身を包んだ姿と形は精悍な雰囲気さえあり、黒豹を思わせる。

3時間余り座っていただけで一気に描き上げたのであるが、もう一度機会があれば、50号ぐらいのタブローで取り組んでみたいものである。

制作が終ったの帰り道は大学から六甲駅まで話しながらの徒歩。レバノン出身の彼女には故郷を想う苦しみはあるのであろうが、私に対してはどこまでも明るく快活で、母国が平和になったらぜひ訪ねてください、とのことであった。



モデル/ マリーローズ・石黒さん(レバノン)



あこがれの土地
レバノンの女^の
33.5×39.5cm